

海の事故のお願い

チュウ!



海の安全情報

全国の海の気象・海象や緊急情報を確認できるサイト



Water Safety Guide

海のレジャーを安全に楽しむための注意点



おやくそく

1

海で遊ぶときは必ず
ライフジャケットを着よう!

おやくそく

2

海で泳ぐなら 海水浴場で!
気象・海象に注意して!

おやくそく

3

海の緊急ダイヤル 118番
海上保安庁へ



うみ

あんぜん

あそ



海で安全に遊ぶために 守ってほしいこと!

こ

まも

子どもに守ってほしいこと



① 海には大人と一緒にいこう。



② 海では大人からはなれない。



③ ライフジャケットをつけよう。

大人が守るべきこと



- 常に子供と一緒に行動しましょう。
- お酒を飲んだら泳がない。
- 遊泳は、適切な安全管理が行われた海水浴場でしましょう。
- 突然来る大波(一発大波)に注意しましょう。
- 最新の天気予報を確認し、天気が良いときに行きましょう。

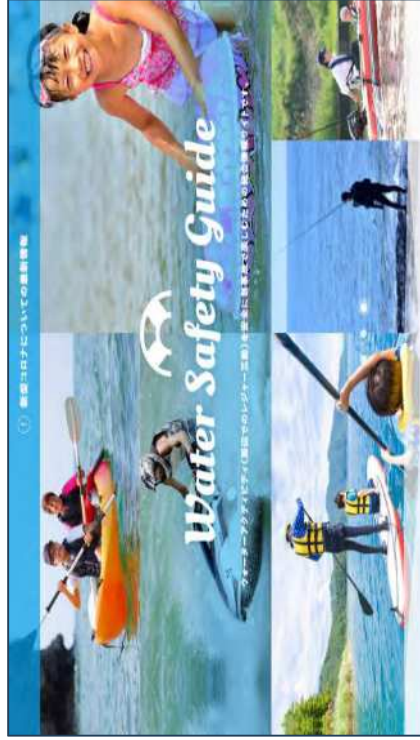


第四管区海上保安本部
☎ (052) 661-1611


Water Safety Guide
ウォーターアクティビティ(海でのレジャー活動)を安全に無事故で楽しむための総合情報サイト



ウォーターセーフティガイドとは



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

以下の8つのマリンスポーツについて事故防止のための情報を取りまとめた総合安全情報Webサイトです。

- モーターボート
- 水上オートバイ
- 遊泳
- スノーケリング
- カヌー
- スタンドアップパドルボード
- ミニボート
- 釣り

16歳未満の事故者が多い「遊泳」について掲載内容の一部を紹介いたします。

詳しくは右の二次元コードからウォーターセーフティガイドをご覧ください。



【二次元コード】

海で遊ぶときの注意

海はプールと違って、泳ぎが得意な方でも波や潮の流れにより溺れてしまうことがあります。海水浴は、遊泳区域が旗やロープで示されており、ライフセーバーや監視員が居る開設された海水浴場で泳ぎましょう。

天気予報や自身の体調を確認するとともに、ライフジャケットや防水バック入り携帯電話などを持っていくきましょう。



離岸流について

沖に向かって発生する強い流れに注意しましょう。離岸流はとても強い流れのため、一旦この流れに巻き込まれてしまうと、気がつかないうちに沖まで流されてしまい大変危険です。

沖に流された場合は、落ち着いて海岸と平行に泳いで離岸流から脱出しましょう。



子どもから離れない

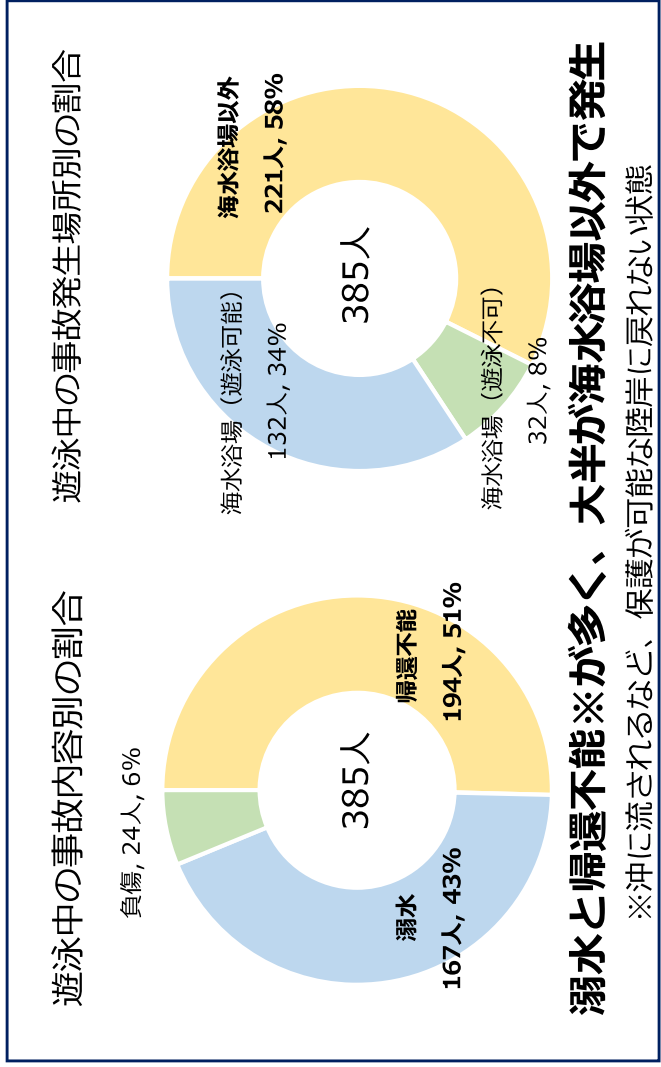
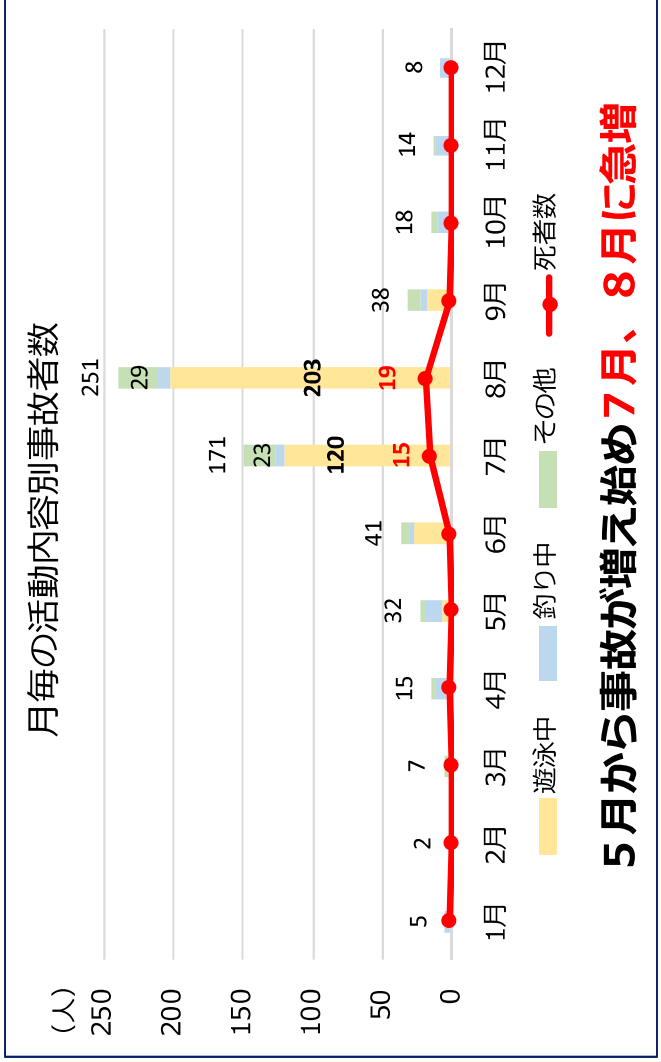
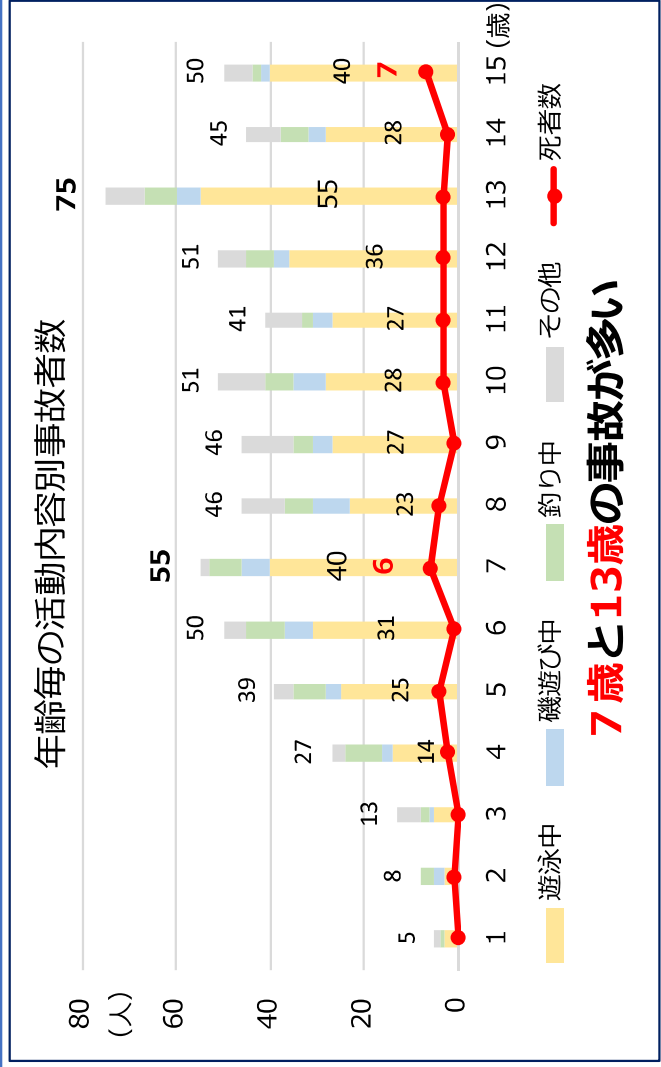
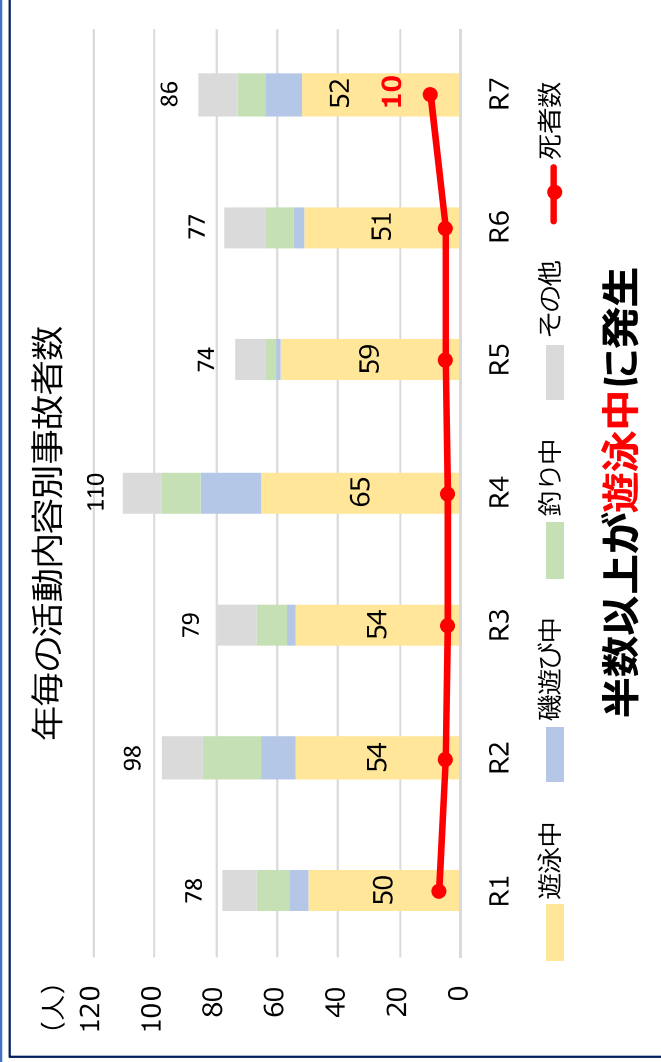
子どもは大人に比べ危険に対する判断ができません。思いがけず小さな波でも足をすくわれ、溺れることがありますので、保護者の方は、常に子どもから離れないようにしましょう。また、万が一に備えライフジャケットを着用させましょう。

水辺に子どものみでいるのを見かけたら、大人が注意するようにしましょう。

波打ち際でも、子どもが波にさらわれ沖に流される事故が発生しています。海に入っていないだけでも油断は禁物です。



16歳未満の事故者状況（令和元年～令和7年）



海上保安庁の取組について



遊泳者への安全啓発活動



安全教室におけるライフジャケットの着用体験

事故事例の紹介

遊泳中に沖に流された事故

中学生が沖に向け遊泳していたところ、潮に流され戻れなくなりましたが、運よく付近の岩場に漂着し、通りかかったゴムボートに救助されました。



浮き具で遊んでいたら

沖に流された事故

小学生の姉弟が波打ち際で大型浮き具に乗っていたところ、風の影響で沖に流されました。
父親が助けようとするも追いつかず、その後、ボートにより救助されました。



保護者が目を離れたときに

溺れた事故

家族でスノーケリングをしていたところ、親が目を離れた際に、小学生の子どもが海面を叩きながら溺れていました。
父の救助が間に合い、病院に搬送されましたが、1週間の療養となりました。

